

『一心千里』

走って見れば、 見えてくる

永田 隆一



第117回

雄介が聞く。「できる
ノレッジ・ワーカーは何
で認められるのでしょうか」。亮太が応える。
「知的労働者という意味
なら、それは笑顔だね」

「笑顔は、生まれ持った
顔のつくりも人それぞれ
れ、笑顔もそれぞれ、ピ
ンとまません」「知的労働
者は、こなした仕事の
量や属している会社組織
の業種や業種では、測る
ことができない」「笑顔
ですか」。

「知的労働者は、結果
がすべてだ。効果が高い
結果を出し続けていれ
ば、お客様からも、会社か
らも高評価がもらえる」
そして、自信が身に付き、
余裕が生まれる。そうす
ると、不思議なもので

「セルフ・デベロップメ
ント」に、時間を割くよ
うになる。こういった知
的労働者は、違う目標や
違う方向をいつも考えて
いる。そして、新しい人

の友達たちの笑顔はど
うになる。こういった知
的労働者は、違う目標や
違う方向をいつも考えて
いる。そして、新しい人

の友達たちの笑顔はど
うになる。こういった知
的労働者は、違う目標や
違う方向をいつも考えて
いる。そして、新しい人

ノレッジ・ワーカーは セルフ・デベロップメント

たちとの出逢いを強烈に
求める行動を取る。能力
を高める努力を怠らない
姿は、組織の他の仲間へ
も良い影響を与える。そ
して、ますます良い笑顔
になる」。

ビジネスマンが外食を控
えて、コンビニ弁当で済
ませる人が増えている。
電気料金も店舗の真賃料
金も上昇、猛暑・台風の
たびに野菜も高騰する。
知的労働者の戦略も取り
づらい状況であれば、笑
顔が消えていくのも無理
はない」。

「外食産業に友人が就
職していますが、経営が
厳しいようです。人手不
足と、米や牛肉といった
材料の価格の上昇が大き
な理由だそうですね」

「亮太さん、京都の高
校の同窓会に出席したの
ですが、高校時代とて

優秀だった友人が液晶業
界に就職したのですが、
やはり明るい笑顔ではあ
りませんでした」

「液晶は間違った、と
ても必要ない技術であり、
いま15兆円程度の市場規
模もある。長い目でみれ
ば成長がとてま厳しい。
業構構がとてま厳しい。
その15兆円の液晶を製造
するのに約7割、10兆円
の原材料を外都から調達

敵いのですね。明るい
笑顔が出せないのも理解
できます」。

「雄介君の友人で大手
不動産企業に就職した連
中は余裕の笑顔じゃない
かい」「そうなんです。
東京と大阪ではオフィス
の空室率も減少が続いて
います。どうも最近、企
業が良い人材を集めるた
めに快適なオフィスを探
す需要が旺盛なようで
す」。

「そのようなね。東京
では、オフィス賃料の前
月比上昇が60カ月続いて
いる。もう1つ、大手セ
ネコンの技術革新で建築
費用が大きく減少してい
る。1993年に完成し
た横浜ランドマークタワ
ーは2700億円、20
03年完成の六本木ヒル
ズが1250億円、14年
に完成したあべのハルカ
スは760億円。知的労働
者たちの創造的価値の
場が多岐にわたってい
る。結果として、素敵な
笑顔を見せてくれる人が

「亮太さん、優勢を張
って頑張っても良いです
か」「去勢された人人生
り、またですね」「僕
は小さな自軍を目指しま
す」。

多くなっている」。

「雄介君、組織はね、変
化する未来を見据えて、
自らの体制を進化させ
ていかなければパイパ
ルでできない。そのため
に、市場のお客様の動向
を注意深く見守ることが
必要だが、それ以上に、
外部の活きのよい企業と
の連携が重要と言われ始
めた。身内だけでは見方
がどうしても偏ってしま
う。パートナー企業の違
った見方が新鮮な風を吹
き込んでくれる。上質な
多様性に富む見方をもと
に、自若して変化できる
組織になることがカギだ
と思っ。そのなかで効果
的な結果を出す。それが
素敵な笑顔を生み出した
ノレッジ・ワーカーへの
道だと思っ」。

（毎月連載）